

新たな政策体系の主な取組み方向について

【活力】

政策	主な取組み
【1】 グローバル競争を勝ち抜く力強い産業の育成と雇用の確保	
1 第4次産業革命への対応と新たな成長産業の育成	<ul style="list-style-type: none"> ○人手不足克服のための労働生産性向上と新たな産業構造の転換を支える人材育成 ○IoTの導入促進に向けた「富山型モデル」の普及支援 ○ものづくり研究開発センターの高機能素材ラボや「製品機能評価ラボ」を拠点とした高機能素材分野などでの産業クラスターの形成促進 ○次世代自動車（燃料電池車、水素ステーション）、航空機産業などへの参入支援
2 医薬・バイオ関連産業の育成など、世界の「薬都とやま」の確立	<ul style="list-style-type: none"> ○「北陸ライフサイエンスクラスター」や県立大戦略的創造研究事業（ERATO）の研究成果の活用 ○環境負荷の少ない酵素反応による医薬品製造の実用化に向けた取組み支援 ○医薬工連携の取り組み、新たな診断機器や医薬品・機能性食品素材の開発、ベンチャー企業の育成の促進 ○バイオ医薬品等の研究開発促進のための県薬事研究所「未来創薬開発支援分析センター（仮称）」による県内製薬企業の研究開発能力及び製造技術力の強化 ○PMDAの「北陸支部」及び「アジア医薬品・医療機器トレーニングセンター研修所」などを通じた「とやまの薬」の国際展開の推進
3 産学官の連携によるものづくり産業の高度化	<ul style="list-style-type: none"> ○「とやまナノテククラスター」の研究成果の活用 ○ものづくり研究開発センターを核とした、コアとなる技術の創成や試作品・先端材料開発等の推進 ○本県の強みである材料技術を活かした技術開発や事業化の支援 ○環境・エネルギー関係技術の研究開発、アルミ技術を活かした技術開発の研究検討
4 起業チャレンジへの支援	<ul style="list-style-type: none"> ○新たな事業にチャレンジする起業家が生まれ、成長できる環境をつくるための「とやま起業未来塾」の開催 ○スタートアップ期の資金調達や交流の場の提供、国内外での販路開拓など、成長段階に応じた総合的な支援
5 人口の増加・定着に結びつく多様な企業の立地	<ul style="list-style-type: none"> ○北陸新幹線の開業や伏木富山港の機能強化、魅力的で安全・安心な立地環境などをアピールした企業誘致 ○地方拠点強化税制の活用 ○東京圏等からの人の還流、若者や女性の雇用につながる本社機能・研究開発拠点等の誘致 ○成長性の高い企業を重点としたトップセールスによる企業立地の推進
6 中小・小規模企業の総合的な支援体制の強化	<ul style="list-style-type: none"> ○県中小企業支援センターや国のよろず相談拠点などの支援体制の充実 ○生産性向上や経営安定等の資金対策、県の中小企業支援ファンドや国の「中小企業ものづくり補助金」を活用した商品開発の支援 ○国内外の見本市への出展などの販路開拓、人材不足分野を重点とした人材の育成・確保に至るまでの総合的な支援体制の強化

7 デザイン力を高めた伝統工芸品産業の新展開とクリエイティブ産業の育成	<ul style="list-style-type: none"> ○希少な技法を有する「伝統工芸の匠」による高い技術を持った職人の育成 ○伝統工芸における若い後継者の技法、デザイン、マーケティング等を体系的に習得するための支援 ○総合デザインセンターの最先端設備を活用した伝統工芸の技術や高いデザイン力を活かした付加価値の高い新商品・ブランドの開発 ○若手デザイナーなどが集うデザイン交流創造拠点を核としてクリエイティブ産業・人材の育成・集積 ○アートとデザインの活用による産業・文化の活性化促進、欧米などでの企画展、「富山デザインコンペティション」の開催など、国内外の優れたデザイナーとの交流やビジネス機会の拡大支援
8 商業・サービス業の振興と商店街の活性化	<ul style="list-style-type: none"> ○新規開業者の誘致や空き店舗への出店、若者や女性等の商店街の魅力創出への参加など商店街活性化の取組みと人材の育成支援 ○サービス産業の付加価値の増大と効率性の向上に向けた先進事例の普及、ICTの活用等の促進 ○買い物支援など地域の新たな課題の解決に取り組むコミュニティビジネスの振興
9 県内企業のグローバル展開への支援	<ul style="list-style-type: none"> ○県内に拠点を置きグローバル展開を進める企業に対するきめ細かなサポート ○富山産業展示館の新展示場を活用した「富山県ものづくり総合見本市」の開催などによる国内外の市場開拓を支援 ○製品の輸出や本県への投資等の促進、海外ビジネスを担える外国人留学生の受入れと県内企業への定着促進
10 雇用の確保と人材の育成	<ul style="list-style-type: none"> ○成長産業の育成や企業誘致等による魅力ある職場の確保や雇用創出 ○「富山くらし・しごと支援センター」等を通じたUIJターンの推進 ○「ヤングジョブとやま」による若者の就業支援 ○「とやまシニア専門人材バンク」による高齢者人材の活用と「障害者就業・生活支援センター」による障害者雇用の促進

【2】 生産性・付加価値の高い農林水産業の振興	
11 意欲ある若い担い手の育成・確保と農業経営基盤の強化	<ul style="list-style-type: none"> ○農地中間管理事業を活用した担い手への農地集積の促進 ○規模拡大のための農業機械等の導入支援などによる経営基盤の強化 ○水田のフル活用、「1億円産地づくり」等による収益性の高い園芸作物の生産拡大 ○薬用作物の生産性の向上と産地化の促進 ○「とやま農業未来カレッジ」を核とした若い農業後継者の確保・育成
12 農業経営の効率化と高付加価値化の推進	<ul style="list-style-type: none"> ○ICT・ロボット技術を活用した米やチューリップ生産など先端的な生産技術（「スマート農業」）の開発・普及 ○農地の大区画化・汎用化、農業水利施設の改修等生産基盤の整備などによる省力化・低コスト化の促進 ○環境にやさしい農業、女性の起業や6次産業化など付加価値の増大につながる取組みの支援

13 食のとやまブランドの確立と地産地消、国内外の市場開拓	<ul style="list-style-type: none"> ○コシヒカリを超える新品種の開発・育成 ○「食のとやまブランド」の認知度向上に向けた、県産食材を活用したイベントによる誘客や首都圏向けなどの販路開拓 ○地産地消の推進による県産農林水産物の需要拡大 ○意欲ある事業者への支援や専門人材の確保などの体制の整備等による県産農水産物や食品の輸出促進
14 森林の整備と林業の振興、県産材の活用促進	<ul style="list-style-type: none"> ○優良無花粉スギ「立山 森の輝き」による再造林や全国への普及 ○林業カレッジによる担い手の確保・育成 ○全国植樹祭の開催などを通じた持続可能な森林経営に向けた取組みの支援 ○木材の生産・流通・加工体制の整備、住宅や公共施設の木造・木質化の促進など、県産材の安定的な供給体制の強化と需要の拡大
15 水産業の振興と富山湾のさかなのブランド力向上	<ul style="list-style-type: none"> ○適切な管理による水産資源の持続的活用 ○キジハタ、世界で初めて稚魚生産に成功したアカムツ（ノドグロ）など新たな魚種の種苗生産技術の開発による、つくり育てる漁業の推進 ○“天然のいけす”とも称される富山湾の地形や先端技術を活用した漁場環境の整備 ○ベニズワイガニのブランド化の推進など、富山のさかなのブランド力向上と海外展開の促進

【3】 環日本海・アジア新時代に向けた陸・海・空の交通基盤の強化	
16 北陸新幹線の早期全線開業による新ゴールデンルートの形成	<ul style="list-style-type: none"> ○北陸新幹線の金沢・敦賀間の確実な開業と京都・大阪への早期延伸・全線開業の促進による「新ゴールデンルート」の形成 ○新ゴールデンルートと現在の東京・名古屋・大阪を結ぶゴールデンルートとの環状新幹線化により生まれる一大交流・経済圏も視野に入れた本県の拠点性の向上 ○東海北陸自動車道の4車線化など高規格幹線道路網、国内外への航空路線網の整備、日本海側総合的拠点港である伏木富山港の機能強化
17 新幹線の開業効果の持続・深化と三駅を核とする広域交流等の促進	<ul style="list-style-type: none"> ○観光キャンペーン、特産品の販路開拓、移住の促進、ビジネスマッチングの拡大など開業効果の持続・深化の取組み ○「日本橋とやま館」での市町村による観光、特産品等の情報発信 ○富山駅及び新高岡駅、黒部宇奈月温泉駅及びそれら周辺の活性化に向けた各市町村との連携による必要な支援
18 あいの風とやま鉄道の利便性の向上	<ul style="list-style-type: none"> ○「高岡・西高岡間」及び「富山・東富山間」の新駅の設置やアクセス道路、駅前広場の整備 ○富山駅高架下の活用方法の検討 ○観光列車や新型車両の導入、乗り継ぎ割引や利用しやすいダイヤの確保など利便性の向上による利用促進と経営安定への支援

19 高速道路、幹線道路から生活道路までの道路ネットワークの整備	<ul style="list-style-type: none"> ○東海北陸自動車道の付加車線の設置や全線4車線化をはじめ、能越自動車道の福岡本線料金所のあり方も含めた利便性の向上と早期全線開通 ○富山高山連絡道路、国道8号など幹線道路から、生活に密着した道路まで安全で快適な道路ネットワークを形成 ○スマートICの設置など高速道路等の利便性の向上 ○橋梁の耐震化、防災施設の充実等、災害に強い道路整備 ○北アルプス横断道路構想等夢のあるビジョンについての中長期的な視点に立った課題整理
20 日本海側総合的拠点港としての伏木富山港の機能強化	<ul style="list-style-type: none"> ○国際物流ターミナルの岸壁やコンテナヤード、20万トン超級の大型クルーズ船に対応した施設の整備 ○新湊マリーナの機能を拡充 ○荷主企業奨励金制度等を活用した集荷促進、航路開設のための運航実験等の取組みの促進
21 国内外との航空ネットワークの維持・充実と空港の活性化	<ul style="list-style-type: none"> ○羽田での国際線乗り継ぎの利便性向上やPR、国際路線の維持・拡充 ○国内外でのエアポートセールスによる積極的な利用促進策の推進など羽田便の路線維持 ○関西、九州・沖縄などへの新規路線やチャーター便の開拓 ○LCCやリージョナルジェットの利用等による国内外との航空ネットワークの充実 ○空港関係施設の機能強化、隣接の総合体育センターとの相互利用など空港の利便性の向上や活性化
22 行政情報のオープンデータ化とWi-Fi環境等の整備促進	<ul style="list-style-type: none"> ○県の持つ統計データ等の情報のオープンデータ化の取組みによる地域課題の解決促進 ○超高速ブロードバンドやWi-Fi環境の整備の促進を通じた、防災・観光情報の提供、教育分野でのICTの活用、ふるさとテレワークの普及などによる活用の促進

【4】 観光振興と魅力あるまちづくり	
23 選ばれ続ける観光地づくりー海のあるスイスを目指してー	<ul style="list-style-type: none"> ○とやま観光推進機構と連携した的確なマーケティングの推進 ○市町村、観光事業者、農林漁業・商工業者等が一体となった魅力的な観光地域づくりの戦略的な推進 ○新幹線駅と観光地を結ぶネットワークの充実など県内各所を周遊しやすい環境づくり ○富山でしか体験できない様々なメニューの強化等による県内での滞在の促進
24 うるおいのあるまちづくりと中心市街地の賑わいの創出	<ul style="list-style-type: none"> ○水辺空間や歴史・文化を活かした個性的なまち並みづくり、魅力ある景観づくりの推進 ○富岩運河環水公園で桜並木のプロムナードを整備するほか、アートや季節のイベントを開催するなど、うるおいのある空間の創出 ○富山市及び高岡市の中心市街地活性化基本計画の再認定に向けた取組みの支援 ○市街地再開発事業や公共交通ネットワークの充実への支援による、居住、商業・業務機能等の中心市街地への集積の促進

25 国際的ブランド「世界で最も美しい富山湾」の保全と活用	○「世界で最も美しい湾クラブ」への加盟が認められた富山湾の美化活動や海岸林等の保全、景観に配慮した侵食対策、沿岸部の観光拠点等を結ぶ湾岸道路の整備などの推進 ○富山湾岸サイクリングコースを活用したイベントやマリンスポーツの振興、「富山湾」を冠した事業の実施や商品・サービスの提供などによる富山湾の魅力の向上と発信
26 「立山・黒部」の世界ブランド化と戦略的な国際観光の推進	○「立山・黒部」の世界ブランド化に向けた検討 ○北陸新幹線での新ゴールデンルート形成、中部圏を縦断する「昇龍道」の魅力向上、外航クルーズ客船の誘致など広域的な周遊ルートの拡充 ○文化財や文化施設などのユニークベニューとしての活用 ○国際会議や大規模コンベンション、アフターコンベンションの誘致推進
27 産業観光をはじめとした多彩なツーリズムの展開	○工場見学やものづくり体験などの産業観光の振興 ○映画・ドラマの誘致の促進 ○撮影実績を活かしたロケ地めぐり、スポーツ、芸術文化、アウトレット等大型商業施設でのショッピングなど、旅行者の多様なニーズや関心に応えた多彩なツーリズムの展開
28 観光人材の育成とおもてなしの心の醸成	○とやま観光未来創造塾等における本県の観光を担う人材育成 ○観光事業者はもとより県民一人ひとりが観光の担い手であるという意識の共有による旅行者を温かく迎えるおもてなしの心の醸成 ○ふるさとの魅力を再発見しアピールする気運の醸成
29 豊かな食の磨き上げと発信	○「富山湾鮎」「とやまの美味しい朝ごはん」「とやまの山幸」など、本県の豊かな海の幸・山の幸や郷土料理の魅力の磨き上げ、発信の推進 ○県産食材を活用した魅力ある料理を提供する県内の料理店・レストラン等の世界的に著名なガイドブックの活用などを通じた国内外への情報発信やイベント等の実施
30 富山のブランドカアッパに向けた戦略的展開	○「日本橋とやま館」における自然環境、食・文化・伝統・技・デザインなど富山の上質なライフスタイルの首都圏等に向けた戦略的発信 ○「富山県推奨とやまブランド」の国内外への発信 ○「幸のこわけ」等の土産品シリーズ、優れた工業製品「富山プロダクツ」など、富山を代表するブランドの浸透と価値の向上

【未来】

政策	主な取組み
【5】 結婚・出産・子育ての願いがかなう環境づくりー県民希望出生率1.9へー	
1 出会いから結婚、妊娠、出産までの切れ目のない支援の推進	○とやまマリッジサポートセンター等を通じた結婚を希望する男女の出会いの場の提供 ○市町村等と連携した結婚支援体制の強化 ○いのちの尊さを学ぶライフプラン教育の推進 ○母子保健の推進、周産期保健医療体制の充実
2 保育サービスの拡充など積極的な子育て支援策の展開	○延長保育や病児・病後児保育等の多様な保育サービスの拡充 ○保育サービスの担い手となる保育士等の人材の確保 ○放課後児童クラブや「とやまっ子さんさん広場」などの拡充 ○子育てシニアサポーターなど地域の子育てを支援するボランティア人材の育成 ○子育て支援センター等の設置促進、子育てホームページなど子育て情報の提供や相談機能を充実 ○「とやま子育て応援団」協賛店の拡大など、子どもの成長や子育てを社会全体で支える気運醸成
3 仕事と子育てを両立できる職場環境づくり	○県条例に基づく、国基準より広範囲な中小企業・小規模企業を対象とする一般事業主行動計画の策定 ○事業所内保育所の設置・運営の支援 ○「企業子宝率」に基づく優良事例の表彰 ○男性の育児休業制度の定着、長時間労働の見直しによる家事・育児への参加など働き方改革の促進
4 子育て家庭の経済的負担の軽減	○不妊治療費助成に加え、市町村との連携による不育症治療費助成制度の創設の検討 ○妊産婦・乳幼児・ひとり親家庭に係る医療費助成、保育所や幼稚園の保育料軽減（第三子以降は無料化） ○多子世帯（3人以上）に対する実質無利子融資、多子世帯住宅の新築等への無利子融資の充実
5 子どもの健全な成長支援	○公民館を活用したふるさと学習や自然体験活動、地域住民との交流活動、登下校時における見守り活動の取組 ○児童虐待や人権侵害の未然防止と早期発見に努めます。

【6】 真の人間力を育む学校教育の振興と家庭・地域の教育力の向上	
6 少人数学級と少人数指導の組合せ等による充実した教育の推進	○少人数学級と少人数指導の適切な組合せによる少人数教育の徹底、学びサポート講師の配置 ○理科・音楽等の専科教員の配置や全国に先駆けて配置した英語専科教員の拡充 ○海外留学、国際交流、プロダクトデザインなど特徴ある教育環境の整備 ○県立高校の教育のあり方の検討

7 一人ひとりの教育的ニーズに応じた特別支援教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> ○通常の学級や通級による指導、特別支援学級、特別支援学校と連続性のある多様な学びの場の提供 ○インクルーシブ教育システムの充実に向けた障害のある子どもに合った指導法や支援体制の検討 ○特別支援教育を担う教員の指導力向上 ○高等特別支援学校等における障害の状態に応じた就労支援の充実
8 いじめ・不登校対策と人権を大切にす る心の育成	<ul style="list-style-type: none"> ○スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー等の活用や早期対応のための教育相談体制の充実 ○小中学校での医師、助産師などを講師とした「いのちの授業」の実施 ○人権を尊重し、心がふれあう社会を形成するための啓発活動等
9 子どもの可能性を伸ばす 教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> ○自ら学び、考え、課題を解決するための思考力、表現力、判断力、コミュニケーション能力を育む教育の充実 ○小学生向けの自然・科学副読本の制作、とやま科学オリンピックの実施などによる科学的才能、論理的思考力を育む教育の充実 ○幼児期から高校までの体系的な英語教育プログラムの開発、ふるさと学習の英語教材としての活用などによるグローバルの人材の育成 ○社会に学ぶ「14歳の挑戦」や高校生のインターンシップ、高校生ものづくりマイスターの認証などによる社会性や職業観を育む教育の充実 ○産学官の連携による体系的なキャリアプログラムの開発・普及
10 家庭・地域の教育力の 向上	<ul style="list-style-type: none"> ○「親学び講座」の拡充、企業での家庭教育講座の開催、家庭教育や子育て支援に関する相談体制の充実 ○親子で参加するふるさと学習や自然体験活動など学校、地域、企業等が連携した地域の教育力の向上の推進
11 大学教育の振興とコン ソーシアム等の活性化	<ul style="list-style-type: none"> ○教育水準の向上や学術研究機能の強化など大学等の魅力向上の支援 ○県内高等教育機関によるコンソーシアムが実施する単位互換の拡充や学生の確保など相互連携 ○COC+事業を活用した経済界、市町村等との連携による雇用創出や学生の地元定着などの取組みの支援
12 県立大学における新学 科の設置と看護学部の創設	<ul style="list-style-type: none"> ○県立大学における全国初の医薬品工学科及び知能ロボット工学科（仮称）の新設等による戦略的創造研究推進事業など最先端の研究の実施 ○県立大学での4年制の看護学部の創設による質の高い看護職員養成
13 生涯をと おした多様な学 びの推進	<ul style="list-style-type: none"> ○県民生涯学習カレッジでの学習講座の開催、高志の国文学館等を活用した学習サービスの提供 ○公民館など社会教育団体の支援、教員OBの活用など、ライフステージに応じた多様な学習機会の提供 ○学習情報の提供の充実や学習成果を地域づくりに活用できる環境づくりの推進
14 ふるさと を学び楽しむ 環境づくり	<ul style="list-style-type: none"> ○「県民ふるさとの日（5月9日）」の記念式典の開催などによる県民の連帯感、ふるさとに対する誇りと愛着を育む活動の推進 ○「ふるさととやまの人物ものがたり」や「高校生のためのふるさと富山」等の郷土学習教材や博物館の活用 ○高志の国文学館における大伴家持生誕1300年企画展等の多彩な企画展の開催 ○子どもから大人まで県民だれもがふるさと学習の機会を得られる体制づくりの推進

【7】 文化・スポーツの振興と多彩な県民活動の推進	
15 県民が芸術文化と出 会い、親しむ環 境づくり	<ul style="list-style-type: none"> ○優れた音楽家の学校出前コンサート、県民芸術文化祭や県展の開催、高志の国文学館での本県ゆかりの文学作品の紹介 ○富山県美術館の開館にともなう国内外の名品を集めた企画展やデザインを多角的に紹介する企画展等の開催、収蔵品の充実 ○「環水公園ミュージアム構想」の推進など県民が芸術文化と出会い、親しむ機会の充実 ○大伴家持生誕1300年記念事業の実施を通じた万葉のふるさと富山の魅力の発信 ○各地の伝統芸能や伝統工芸、文化施設、文化財など、県民の誇りとなる文化芸術資源の磨き上げ、充実などにより戦略的に活用する「文化芸術クラスター」の形成
16 県民が芸術文化の創造に 参加し、交流す る機会の充実	<ul style="list-style-type: none"> ○とやま世界こども舞台芸術祭の開催など子どもたちが世界の文化に触れ、交流する機会の充実 ○富山県美術館におけるアートとデザインをつなぎ、見る、創る、学ぶという双方向で美術体験をする場として整備 ○一流作家によるワークショップの開催など、県民が芸術文化の創造に参加し交流できる場の拡充 ○若手芸術家の作品の発表や展示の機会の提供など、文化の次世代の担い手の育成
17 質の高い文化の創造と 世界への発信	<ul style="list-style-type: none"> ○富山県美術館を活用した国際的な工芸サミットの開催 ○世界ポスタートリエンナーレとヤマの開催、利賀芸術公園における国際的な舞台芸術の祭典の開催 ○世界水準の人材が参加し、競い合う機会の充実やこれらを通じた次世代の人材育成、教育事業の実施
18 スポーツに親しむ環 境づくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> ○元気とやまウォークラリーや富山マラソン、富山湾岸サイクリングなど県民参加型のイベントや競技大会の開催 ○総合型地域スポーツクラブ間の連携強化、子どもや若者をはじめ幅広い県民が楽しめる文化スポーツ施設の拡充・整備の検討 ○県内のプロスポーツチームと連携したイベント等の開催などによるスポーツを通じた地域の活性化
19 全国や世界の檜舞台で 活躍する選手 の育成	<ul style="list-style-type: none"> ○ジュニア期からの一貫指導体制の強化、野球・サッカー・駅伝等の競技の重点強化 ○県総合体育センターを拠点とした総合的なスポーツ医・科学的サポート体制の強化 ○全国大会や2020東京オリンピック・パラリンピックなどで活躍できるトップアスリートの育成 ○県内の充実したスポーツ施設を活用したスポーツ合宿の誘致
20 多様なボ ランティア・N PO活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> ○活動体験や研修を通じたボランティアの普及啓発や人材育成の推進 ○先駆的な活動への助成や資金調達の手続きなどNPO活動基盤の強化 ○NPO、企業、行政等の協働の取組みの支援
21 若者の自 立促進と活躍 の場の拡大	<ul style="list-style-type: none"> ○社会生活上困難を抱える若者に対し早期に効果的な支援を行うための「富山県子ども・若者支援地域協議会」における関係機関の連携強化 ○「ヤングジョブとやま」や富山県若者サポートステーションを軸とした若者の就業、自立を総合的に支援する体制の強化 ○職業意識の早期形成を目指したキャリア教育の推進 ○首都圏等の人材に焦点を当てたUIターン就職対策の推進 ○産業界と連携した奨学金返還の支援

22 男女共同参画社会づくり	○性別による固定的な役割分担意識の解消 ○男性の家事・育児・介護や地域活動への参加の促進 ○女性の管理職への積極的な登用促進など女性が様々な分野で活躍できる環境づくりの推進
23 グローバル社会における地域づくり・人づくり	○多言語による情報提供や相談体制の充実 ○日本語習得支援、国際人材の社会参加の促進など、外国人にとっても県民にとっても暮らしやすい地域づくりの推進 ○アセアン地域等からの優秀な留学生の受入れの拡大や県内企業への就職の促進 ○NPO等による国際交流活動の支援

【8】 ふるさとの魅力を活かした地域づくり	
24 「くらしたい国、富山」の発信による移住の促進	○「くらしたい国、富山」のイメージの発信・定着 ○東京・有楽町の「富山くらし・しごと支援センター」での暮らしと仕事の一元的な相談体制の充実など富山の暮らしの魅力発信 ○首都圏における移住セミナーや近隣県と連携した移住体験ツアーの開催、NPOや市町村が行う移住体験会への支援 ○移住者受入モデル地域の拡充など受入れ体制の強化
25 自然や歴史・文化など地域の魅力のブラッシュアップと世界文化遺産登録の推進	○豊かで美しい自然や多彩な歴史・文化など地域の魅力の再発見によるブラッシュアップの取り組みの支援 ○本宮砂防堰堤等の重文指定やシンポジウムの開催等による世界文化遺産登録の活動の推進 ○勝興寺や国宝瑞龍寺の保存修理の推進 ○高岡御山山祭、魚津のタテモン行事、城端神明宮祭の曳山行事の世界無形文化遺産登録の活用 ○世界ジオパーク加盟を目指す立山黒部ジオパークの活動等の支援
26 地域の個性を活かした景観づくり	○地域の特色を活かしたまちづくりや美しい田園景観、情緒あるまち並みなど、地域の個性を活かした景観保全活動の支援 ○地域の景観に調和した良質な屋外広告物の設置誘導 ○無電柱化、新幹線の車窓からの立山連峰の景観の確保、景観づくり住民協定の締結支援など良好な景観づくりの推進
27 豊かで美しい農山漁村の持続的な発展・都市との交流	○地域ぐるみによる農地、農業用水、里山などの良好な保全管理 ○電気柵の設置等による野生鳥獣からの農作物被害の防止やジビエ料理の普及 ○魅力あふれる自然・景観・食・伝統文化の継承やそれらの地域資源を活用した「稼ぐ力」の向上に向けた取り組みへの支援 ○農山漁村の持続的な発展による豊かで美しい環境と多面的な機能の維持・増進 ○都市と農山漁村との交流の促進、中山間地域の活性化
28 水と緑の森づくり・花と緑の地域づくり	○「水と緑の森づくり税」を活用した優良無花粉スギ「立山 森の輝き」などによる県民参加の森づくり ○森林ボランティアの育成 ○地域住民による花と緑の地域づくりを進めるための推進役であるグリーンキーパーの育成、花と緑のグループの支援

【安心】

政策	主な取り組み
【9】 いのちを守る医療の充実と健康寿命日本一	
1 医師の養成・確保	○医師不足が顕著な小児科、産科、麻酔科、救急部門などの人材確保 ○修学資金貸与、研修医確保に向けたPR、院内保育所の整備等 ○質の高い医療を提供するためのスキルアップセミナーの開催 ○県立中央病院におけるドクターヘリ等を活用した研修
2 看護師・保健師・助産師の養成・確保	○質の高い看護師・保健師・助産師を養成するための県立大学看護学部の創設 ○富山県高岡看護専門学校をはじめとした看護師養成機関の支援 ○がん、糖尿病や訪問看護など特定分野における実践能力の高い看護師の養成
3 最先端のがん医療など総合的ながん対策の推進	○県立中央病院（先端医療棟）における最新鋭のMRIやCT、ロボット手術・ハイブリッド手術の導入 ○がん検診受診率向上などがん早期発見体制の強化や、がん総合相談支援センターなどによる患者支援体制の充実
4 質の高い救急医療・リハビリ医療・在宅医療等の提供体制の充実	○ドクターヘリの運用に併せた県立中央病院でのスーパーICUの整備等による高度救急医療体制の充実 ○新たに再編整備した県リハビリテーション病院・こども支援センターでの365日リハビリ、ロボットリハビリの取り組みなど高度で専門的なリハビリテーション医療の提供 ○地域医療構想の策定・推進 ○開業医のグループ化、訪問看護ステーションの機能強化など在宅医療体制の整備促進
5 健康寿命日本一を目指す総合対策の推進	○健康寿命日本一に向けた気運の醸成 ○減塩・野菜摂取（1日350g達成を目標）・運動など生活習慣改善のための県民運動や飲食店、スーパー・コンビニ等との連携協力 ○健康づくりに熱心な企業の認定・支援 ○「健康合宿」の普及による人工透析患者の抑制 ○県内のプロスポーツチームと連携した健康イベントの開催 ○薬局などを「健康の気づきの拠点」としての活用 ○次世代インフラ等を活用した「健康ポイント制度」の導入検討
6 人の痛みに寄り添い、支える場づくり	○「心の健康センター」や「ひきこもり地域支援センター」などによるこころの健康に関する相談体制の充実 ○自殺防止総合対策の推進 ○DV被害者の早期発見から保護、自立に向けた切れ目のない対策、配偶者等からの暴力の未然防止 ○犯罪等の被害者などへの支援の拡充
7 食の安全の確保、食育の推進	○食品の安全性に関する県民への情報提供の充実 ○適正農業管理（GAP）の普及、適正な食品表示や衛生管理の指導強化 ○直売所やインショップの開設支援、学校給食での県産食材の活用拡大など地産地消の推進 ○「富山型食生活」の実践や食文化の継承等に向けた県民運動としての食育の展開

【10】 住み慣れた地域で安心して暮らせる福祉の推進

8 地域包括ケアシステムの構築と共生社会の形成	○高齢者が可能な限り住み慣れた地域で生活できるための「地域包括ケアシステム」の構築の推進 ○見守りなど公的制度にはないサービスを提供するケアネット活動などによる自分らしく活躍できる共生社会の形成
9 保健・医療・福祉の切れ目のない支援	○がん総合相談支援センターや難病相談・支援センターにおける医療、介護、福祉、就労等の相談に応じるなど患者、家族への支援の充実 ○児童・高齢者・障害者の福祉サービスの総合的な提供の促進 ○多様な医療・福祉人材の養成・確保
10 介護・福祉人材の確保のための環境整備	○介護福祉士等を目指す学生への修学資金の貸与、福祉職場説明会等による介護・福祉に従事しようとする者への就業援助 ○キャリアパスの整備や介護ロボットの導入への支援など職場への定着の促進
11 高齢者の介護予防と介護サービス、認知症対策の充実	○介護予防や生活支援体制の整備 ○在宅医療支援センターによる開業医の連携・グループ化 ○訪問看護ステーションの設置や大規模化の推進 ○小規模多機能型居宅介護事業所の整備の促進 ○地域住民による認知症高齢者見守りネットワークや相談体制の充実 ○認知症疾患医療センターの設置や認知症高齢者グループホームの整備 ○認知症ケアに関する専門人材の養成 ○若年性認知症対策の充実
12 障害者に対する差別の解消と障害等の特性をふまえた支援	○県条例に基づく障害者に対する差別の解消の取組みと虐待防止対策等の推進 ○発達障害など様々な障害に対する、ライフステージに対応したきめ細かな支援 ○障害者の雇用・就労の促進
13 障害者が地域で安心して暮らせる体制の整備	○地域で自立し社会参加するためのグループホーム等の整備 ○ホームヘルプや生活・就労に必要な訓練・介護などのサービス、身近な地域での相談・療育支援体制の充実 ○特区制度を活用した富山型デイサービス事業所における障害者の就労支援 ○重度心身障害児者等が必要な医療的ケアが受けられる体制の整備、強化

【11】 環日本海地域をリードする「環境・エネルギー先端県」づくり

14 循環型社会・低炭素社会づくりの推進	○循環型社会と低炭素社会づくりに向けた環境教育の推進 ○レジ袋の無料配布廃止や「とやまエコ・ストア制度」、エコドライブなどエコライフの実践の促進 ○家庭を中心とした節電・省エネルギーの推進
15 「富山物質循環フレームワーク」の実現に向けた「とやまモデル」の確立	○G7富山環境大臣会合で採択された「富山物質循環フレームワーク」をふまえた廃棄物需給のマッチングや食品ロス・食品廃棄物対策 ○資源効率性、3Rの推進によるゼロエミッション社会（廃棄物排出ゼロ）の実現に向けた「とやまモデル」の確立 ○県内企業の廃棄物処理技術の環日本海・アジア地域への普及促進

16 豊かな自然環境の保全	○希少野生動植物保護条例による希少種の保護や立山でのバス排ガス規制 ○ナチュラリストの育成、県民協働による外来植物除去、「とやまのライチョウサポート隊」による保護活動 ○ラムサール湿地である弥陀ヶ原の木道の安全対策 ○イノシシ、ニホンジカなど野生生物の個体数の適正な管理
17 安全な生活環境の確保と環日本海地域の環境保全	○PM2.5など大気汚染物質の発生源対策や水の監視体制の強化、環境学習の充実 ○海洋ごみ等の環境問題の解決に向けた北西太平洋地域海行動計画（NOWPAP）の活動の支援 ○「2016北東アジア自治体環境専門家会合とやま宣言」に基づく気候変動、生物多様性、海洋ごみに関する調査等の実施
18 清らかな水資源の保全と活用	○水源地域保全条例による土地取引の把握等による水源保全対策の推進 ○「地下水の守り人」の養成等による地下水保全対策の推進 ○名水の保全・活用、魅力ある水辺空間の創出、小水力発電の推進など水資源の多面的利用を通じた「水の王国とやま」の実現
19 再生可能エネルギーの導入、新たなエネルギー利用に向けた開発の促進	○中小河川や農業用水等を活用した小水力発電所やバイオマス発電・熱利用の導入促進 ○豊富な資源量を活かした地熱発電所の建設の調査等の実施 ○水素やメタンハイドレートといった新たなエネルギー資源の利活用に向けた調査の推進 ○将来の水素社会の基盤の構築に向け、燃料電池車や水素ステーションの導入、アルミ技術を活かした水素の保存の研究開発などの推進

【12】 災害に強く、「日本一安全・安心な県」づくり

20 消防力や地域防災力の強化による防災・危機管理体制の充実	○消防職団員の教育訓練や防災関係者の研修、消防組織の広域化、消防団員の確保と資質の向上 ○自主防災組織の結成の促進 ○消防防災ヘリの更新準備、消防庁消防大学校消防研究センターと連携した火災災害の調査能力の向上 ○官民一体となったテロに強い社会の実現など総合的な危機管理体制の充実
21 防災・減災、災害に強い県土づくり	○「富山県国土強靱化地域計画」に基づく治山・治水・砂防・海岸等の施設整備 ○市街地でのゲリラ豪雨による浸水対策としての雨水排水路、貯留浸透施設などの整備の推進 ○津波対策としての海岸堤防の点検や機能強化
22 地震・津波対策、火山対策、原子力災害対策の充実	○東日本大震災や熊本地震を教訓とした活断層による地震の被害想定調査や津波シミュレーション調査の実施 ○庁舎・学校・住宅等の耐震化、津波ハザードマップの作成、自主防災組織による避難訓練や資機材の整備への支援 ○県地域防災計画の見直し、市町村の避難計画の作成の支援などによる火山対策の推進 ○市町村や原発立地県等との連携による住民への情報伝達・避難誘導・環境放射線モニタリングの体制整備、安定ヨウ素剤の備蓄などによる原子力災害対策の推進
23 雪に強いまちづくり	○除雪機械やオペレーターの確保など除雪体制の維持、車道や歩道の除雪の充実 ○高齢者世帯等に対する除排雪活動への支援、雪崩防止柵等の整備など、総合的な雪対策の展開

24 犯罪の減少と交通安全対策の推進	<ul style="list-style-type: none"> ○安全なまちづくり推進センターを中心とした民間パトロール隊や学校安全パトロール隊、青色回転灯装備車等によるパトロール活動などの地域の防犯活動の支援 ○高齢者の交通事故防止対策の強化など、県民総参加による交通安全対策の推進 ○警察関係施設・設備の整備、警察機能の充実・強化
25 地域公共交通の維持活性化と新たな展開	<ul style="list-style-type: none"> ○県民の日常生活等を支える総合的な地域公共交通体系の構築に向けた協議の場の設置 ○鉄軌道の安全性向上への取組みや民営バスの運行維持への支援 ○低床車両や交通ＩＣカードの導入促進 ○城端線・氷見線の活性化支援、交通機関相互の接続利便性を高めるための取組み支援 ○低床バスやデマンドバスなど地域のニーズに対応したサービス支援
26 安全・安心で豊かな住環境づくり	<ul style="list-style-type: none"> ○住宅の耐震化やバリアフリー化、省エネルギー化、子育て世帯の住宅取得などの促進 ○利便性の高いまちなかへの居住の誘導 ○民間の生活支援サービス付き高齢者向け住宅の供給 ○空き家の利活用や適正管理 ○散居村の保全
27 消費生活の安全の確保	<ul style="list-style-type: none"> ○住民に身近な市町村の相談体制や、県の広域的・専門的な相談機能を充実・強化するなど消費生活相談体制の整備 ○高齢者を狙った悪質商法や特殊詐欺、若者のインターネット利用によるトラブルの未然防止など、「富山県消費者教育推進計画」に基づくライフステージに応じた消費者教育の体系的な推進